

シルバー やまがた

第119号 平成27年7月1日発行 (公社)山形市シルバー人材センター広報部会
正会員数 899名 賛助会員 45個人・51団体(6月末現在)



長瀬理事長挨拶 (広報部撮影)

—— 内容紹介 ——

- | | | | |
|----|--------------------------------------|------|------------------------------|
| P2 | 平成27年度定時総会あいさつ 感謝状・表彰状受賞者 | P7 | 会報「シルバーやまがた」 表紙用写真の募集について |
| P3 | 平成26年度 事業実績報告 | P8~9 | 会員のひろば |
| P4 | 平成27年度 課題と事業予算 平成27年度 年間事業計画 (予定) | P9 | 感謝状を受賞しました |
| P5 | 新役員紹介 | P10 | 地域紹介「わが街自慢」 |
| P6 | 地区世話役・互助会役員紹介 | P11 | 就業会員を訪ねて 新入会員紹介 |
| P7 | 安全・適正就業強化月間 | P12 | 事務局だより |

ホームページでもご覧いただけます。

山形市シルバー人材センター

検索

平成27年度定時総会あいさつ

理事長
長 瀬 洋 男

平成二十七年定時総会の開催にあたり、一言ごあいさつ申し上げます。

山形市シルバー人材センターは公益社団法人に移行してから四年目を迎えました。この間、会員の皆様と共に、安全・適正就業の徹底を図りながら事業のさらなる進展に向け努力して参りました。会員数や受注実績も堅調に推移しているところでございます。これも偏に会員の皆様並びに賛助会員の皆様、そしてご来賓の方々のご理解、ご指導の賜物とまざまざも深く感謝申し上げる次第でございます。

少子高齢化が一層進展し、山形市の高齢化率は、平成二十五年十月では二十五・六%となつていましたが、十年後の二〇二五年には三十%を超える予測されています。一方で、全国的にもシルバー人材センターに入会する会員数は依然として減少又は伸び率が鈍化している状況にあります。

当センターでは平成二十七年から五カ年を期間とする「新中期事業計画」を策定いたしました。地域の高齢者自らが主体的に連携し、共に働き、共に助け合うことによる活力ある地域づくりに寄与するとともに、市民に信頼され満足されるサービスの提供を通じ、事業の社会性を高め、質的向上と量的拡大を図ることを基本理念として、生涯現役を望む高齢者に就業の場と、社会参加や仲間との集いの場を提供することにより、高齢者の生きがいの充実や健康

の維持・増進を図っていくことを目指してまいります。

さて、公益社団法人全国シルバー人材センター事業協会では、高齢者の多様なニーズに応え、就業を確保するための有効な手段として、シルバー派遣事業の積極的な取り組みを提唱しています。しかし、当センターを取り巻く環境として、昨年には大型家電量販店やホームセンター等のシルバー派遣事業がなくなったため、大変厳しい状態にあるといえます。また、国の補助金では、平成二十七年から従来の運営費・人件費に係る部分が削減され、シルバー派遣事業や現役サポート事業等の事業費部分に増額されるなど、経済的には依然として厳しいものがあります。

一方で、請負事業については、戦略的な企業訪問活動を積極的に行つた結果、新規受注開拓が奏功し、実績が回復傾向にあります。今後とも、イチイチ運動とともに、会員拡大と新規受注開拓に努力してまいります。

終わりに、シルバー人材センターの基本理念であります「自主・自立、共働・共助」の精神に則り、一層の機能強化と効率的な事業運営を推進するとともに、公益社団法人として高齢者並びに地域社会の期待に応えられるようシルバー事業の推進に取り組んでまいり、関係各位のご支援、ご協力をお願い申し上げます。



感謝状受賞者名簿

1. 役員表彰 (2名)

役員として、2期以上にわたりセンター発展に多大なる貢献し、退任される方

| 職名 | 氏名 | 職名 | 氏名 |
|----|-------|----|-------|
| 理事 | 矢代 鉄也 | 監事 | 柿本 青史 |

2. 正副班長及び組長表彰 (9名)

地区班正副班長及び組長として、5年以上在任し、退任される方

| 地区名 | 氏名 | 地区名 | 氏名 |
|-------|-------|-------|-------|
| 西 | 樋口 健一 | 滝山 1 | 村上 實 |
| 第 8 | 佐藤 敏弘 | 滝山 1 | 板垣 昌夫 |
| 千 歳 | 遠藤 修一 | 南 沼 原 | 柏倉 弘治 |
| 飯塚・榎沢 | 山川 隆 | 西 部 | 鈴木 和男 |
| 滝山 1 | 高嶋 兼治 | | |

3. 会員表彰 (65名)

会員として、5年以上在籍し、積極的に就業に励み、その業績が顕著であり、正副班長の推薦を受けた70歳を超えた方

| 地区名 | 氏名 | 地区名 | 氏名 |
|-----|-------|------|-------|
| 第 1 | 大和 壽一 | 千 歳 | 井上 茂子 |
| 第 1 | 國井 勲 | 東 沢 | 山田 正男 |
| 第 2 | 澤村 勇一 | 滝山 1 | 浅野キクヨ |
| 第 2 | 板垣 豊 | 滝山 1 | 相澤 忠志 |
| 第 2 | 花輪多恵子 | 滝山 1 | 高橋 道男 |
| 第 2 | 鈴木 靖子 | 滝山 2 | 本田 汎勇 |

| | | | | |
|-------|-------|--------|--------|--------|
| 第 2 | 仲野 吉雄 | 金 井 | 井 井 | 佐藤 清一 |
| 第 2 | 粕谷 浩司 | 金 井 | 井 井 | 清野 政直 |
| 第 4 | 長谷川徳治 | 金 井 | 井 井 | 佐藤 和男 |
| 第 5 | 山川 良男 | 金 井 | 井 井 | 田中 健 |
| 第 6 | 山田 孝征 | 金 井 | 井 井 | 田中 秀幸 |
| 第 6 | 村上 清志 | 金 井 | 井 井 | 阿部健次郎 |
| 第 7 | 金子 功 | 金 井 | 井 井 | 伊沢 進 |
| 西 | 伊藤新次郎 | 金 井 | 井 井 | 田中 靖子 |
| 西 | 渡辺美沙子 | 金 井 | 井 井 | 五十嵐日出夫 |
| 第 8 | 鈴木 敏世 | 金 井 | 井 井 | 後藤 信夫 |
| 第 10 | 武田智恵子 | 大 郷 | 郷 郷 | 渡邊 一男 |
| 第 10 | 草苺 順子 | 蔵 王 | 王 王 | 深瀬 恵子 |
| 第 10 | 今野 正巳 | 蔵 王 | 王 王 | 井上 辰男 |
| 第 10 | 阿部 晃一 | 蔵 王 | 王 王 | 小野多枝子 |
| 鈴 川 1 | 小野寺詔雄 | 南山形・本沢 | 南山形・本沢 | 塩野 邦雄 |
| 鈴 川 1 | 臼井 勲 | 南山形・本沢 | 南山形・本沢 | 高橋 正博 |
| 鈴 川 2 | 加藤 芳男 | 南 沼 原 | 南 沼 原 | 長峰 侑子 |
| 鈴 川 3 | 渡辺 志朗 | 南 沼 原 | 南 沼 原 | 百瀬千恵子 |
| 鈴 川 3 | 佐藤 盛 | 南 沼 原 | 南 沼 原 | 佐々木友重 |
| 鈴 川 3 | 會田 満 | 南 沼 原 | 南 沼 原 | 遠藤 敏和 |
| 鈴 川 3 | 池田 儀政 | 南 沼 原 | 南 沼 原 | 小林 誠 |
| 鈴 川 3 | 村上 幸二 | 南 沼 原 | 南 沼 原 | 金澤 良光 |
| 鈴 川 3 | 佐藤 征紀 | 南 沼 原 | 南 沼 原 | 佐々木 守 |
| 鈴 川 3 | 鈴木 洋一 | 南 沼 原 | 南 沼 原 | 岸 清司 |
| 鈴 川 3 | 国分 英雄 | 南 沼 原 | 南 沼 原 | 荒井 匡弘 |
| 千 歳 | 佐藤 三夫 | 西 部 | 西 部 | 結城 義弘 |
| 千 歳 | 井上 道也 | | | |

平成26年度 事業実績報告

積極的な新規就業開拓により、契約金額は2千362万7千円増

日本は、過去60年間で平均寿命が25年も延びており、世界に先駆けて「長寿高齢社会」を迎え、2025年（平成37年）には「人生90年時代」が到来することになります。全国的にシルバー人材センターの新規会員数及び契約金額が減少している中、全国シルバー人材センター事業協会では、当センターで取り組んできた1：1（イチイチ運動）をモデルとして、「会員の拡大」「就業機会の拡大」の全国運動に取り組むことになりました。

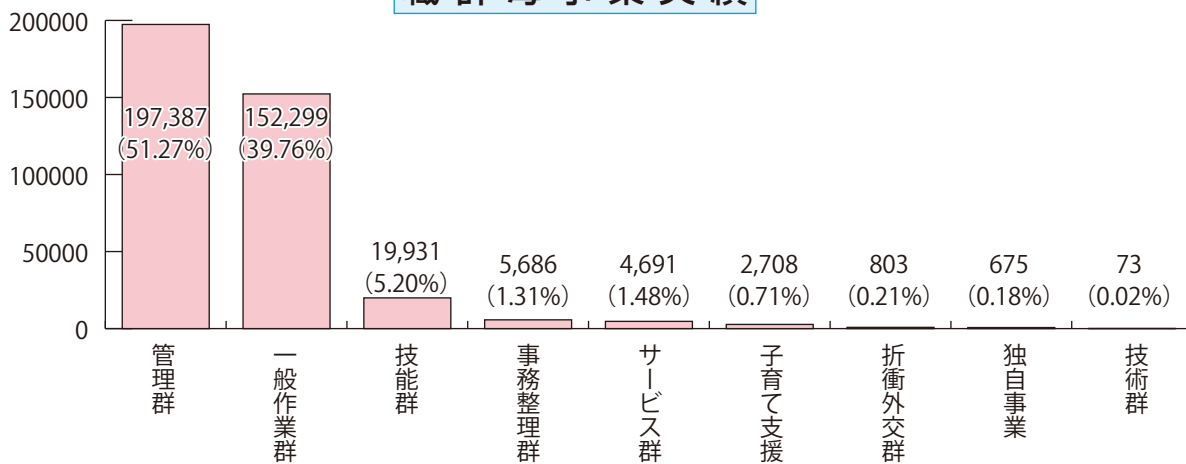
このような中、当センターの平成26年度末の正会員数は過去2年間の増加傾向から一転して減少に転じましたが、契約金額は積極的な新規就業開拓により増加しました。

平成26年度末の正会員数は、21人減の959となりました。契約金額は、新規就業開拓に積極的に取り組んだことにより、23,627千円増の3億8千302万4千円、就業延人員は6,891人増の126,616人、受託件数は4,403件と昨年度より軒並み増加しました。（詳しくは平成27年度定時総会議案書をご参照ください。）

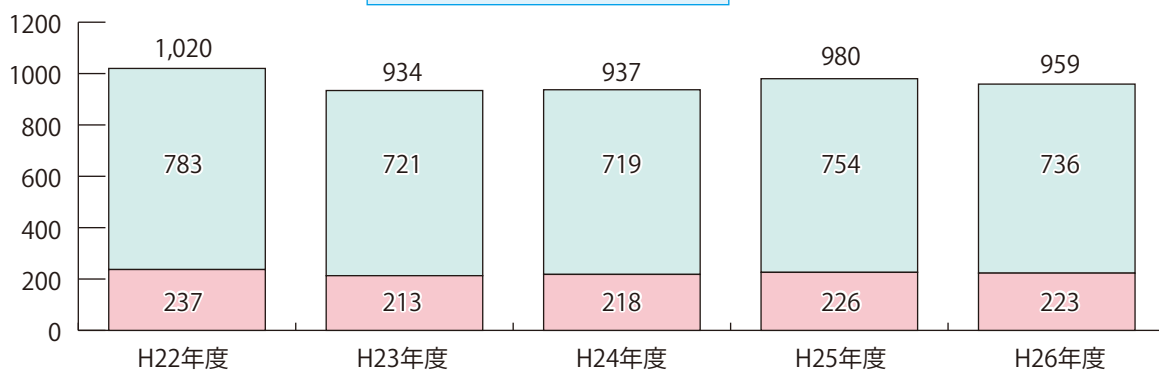
平成26年度事業実績

| 項目 | 26年度実績 | 25年度実績 | 比較 |
|----------|-----------|-----------|----------|
| 正会員数 | 959人 | 980人 | ▲21人 |
| 契約金額 | 383,024千円 | 359,397千円 | 23,627千円 |
| 就業延人数 | 126,616人 | 119,725人 | 6,891人 |
| 受託件数 | 4,403件 | 4,362件 | 41件 |
| 派遣事業契約金額 | 26,946千円 | 35,597千円 | ▲8,651千円 |

職群毎事業実績



年度別会員数の推移



平成27年度 課題と事業予算

会員増と就業機会の拡大、安全就業を重点課題に

全国シルバー人材センター事業協会に設置された「シルバー人材センター事業のあり方に関する検討会第二次報告書」において提言されていますが、シルバー事業が急増する高齢者の受け皿としての機能を十分果たし、「社会の支え手」を実践できるよう検討・実施していくことが重要になっていくと考えられます。

しかしながら、リーマンショックに端を発した経済不況は、依然として地方経済に暗い影を落としており、アベノミクスによる景気浮揚策も恩恵を実感できない状況が続いています。また、相次ぐ補助金の削減と重なって、当センターを取り巻く経営環境は改善されない状況にあります。こうした中、当センターでは平成27年度から5カ年の「新中期事業計画」を策定し、基本理念である「自主・自立、共働・共助」を堅持しつつ、一層の機能強化と効率的な事業運営を推進していかなければなりません。

今年度は、公益社団法人として、高齢者並びに地域社会の期待に応えられるよう次の8つの事項を重点に事業に取り組んでまいります。

(事業計画や予算等、詳しくは平成27年度定時総会議案書をご参照ください。)

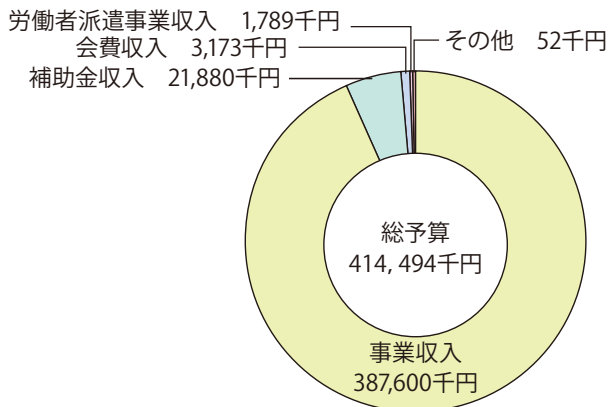
重点課題

1. 新入会員増と退会会員減少の防止策への取組み
2. 受注作業の迅速化
3. 就業機会の拡大と受注件数の増加
4. 会員組織の充実と活性化
5. 子育て支援事業への取組み
6. 安全就業推進体制の強化
7. 公益社団法人としての機能強化
8. 経営の効率化と財源の確保

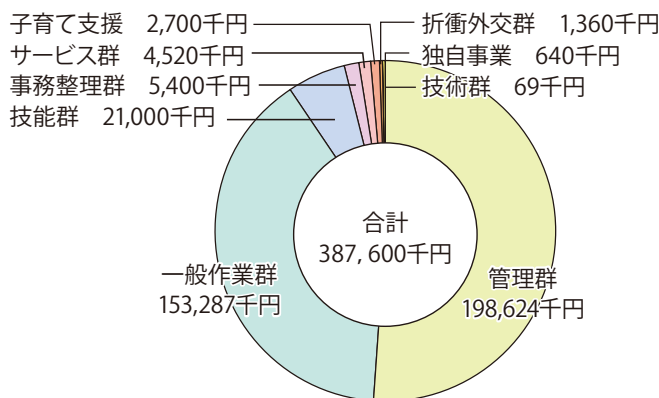
平成27年度年間事業計画

| | |
|-----|---|
| 4月 | 自転車即売会 |
| 5月 | 自転車即売会 |
| 6月 | 平成27年度定時総会、世話役会、自転車即売会 |
| 7月 | 全国安全就業強化月間、安全標語募集 安全パトロール、自転車即売会 |
| 8月 | 安全講習会、自転車即売会 |
| 9月 | 清掃奉仕活動、世話役会、新入会員研修会 地区研修会、自転車即売会、バザー |
| 10月 | 全国普及啓発促進月間、自転車即売会 |
| 11月 | 創作品展示即売会 |
| 12月 | ブロック研修会、世話役会 |
| 1月 | |
| 2月 | 新入会員研修会 |
| 3月 | 世話役会 |

平成27年度予算（収入総額）



事業収入内訳





理事
石澤 裕吉
(市都市振興公社推薦)



理事
栗原 浩一
(市社会福祉協議会推薦)



理事
鞠子 克己
(市推薦)



常務理事(業務執行理事)
笹原 信之
(市推薦)



副理事長(代表理事)
鈴木 健一
(第十地区)



理事長(代表理事)
長瀬 洋男
(市推薦)

理事会



理事
会田 健治
(東沢地区)



理事
樋口 健一
(西地区)



理事
佐藤 美紀子
(第六地区)



理事
村田 せつ子
(第二地区)



理事
遠藤 修一
(千歳地区)



理事
小林 誠
(南沼原地区)



理事
加藤 芳男
(鈴川二地区)



理事
山川 良男
(第五地区)



理事
鈴木 洋一
(鈴川三地区)

《事業部会》

○ ◎

- 石澤 裕吉
- 森谷 とし子
- 布施 道弘
- 柴田 和宜
- 古頭 義雄
- 加藤 芳男
- 鈴木 健一

《総務部会》

○ ◎

- 鞠子 克己
- 鈴木 美智子
- 石山 哲雄
- 本木 康晴
- 沼沢 久雄
- 山川 良男
- 鈴木 洋一

◎は部会長および委員長
○は副部会長および副委員長

専門部会



監事
相沢 英章
(飯塚・榎沢地区)



監事
佐藤 勝蔵
(南山形・本沢地区)

《安全就業推進委員会》

○ ◎

- 栗原 浩一
- 長瀬 恵子
- 宮林 義美
- 山崎 正弘
- 成田 ミツ子
- 金子 誠太郎
- 平吹 誠征
- 武田 忠征
- 会田 健治
- 樋口 健一

《女性部会》

○ ◎

- 安達 つや子
- 佐藤 久子
- 古林 キヨ子
- 鈴木 靖子
- 塩野 美智子
- 佐藤 美紀子
- 村田 せつ子

《広報部会》

○ ◎

- 今野 久子
- 石塚 光夫
- 伊藤 宏一
- 高橋 一郎
- 上谷 一修
- 遠藤 一誠
- 小林 誠

地区世話役

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------|----------------------------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--------------|------|---------------|-------|------|----|
| 飯塚・樫沢 | 千歳 | 鈴川三 | 鈴川二 | 鈴川一 | 第十石塚 | 第九水留 | 第八丹野 | 西七 | 第六伊東 | 第五佐藤 | 第四明石 | 第三清水 | 第二松田 | 第一齋藤 | 地区名 | | | | | | |
| 相沢 英章 | 井上 隆 | 渡辺 志朗 | 武田 忠征 | 大滝 守 | 十石塚 惇 | 水留 廣秋 | 丹野 碩哉 | 古郡興二郎 | 伊東 義雄 | 佐藤 武則 | 明石 務 | 清水 勇 | 松田 裕 | 齋藤 孝男 | 班長 | | | | | | |
| 安達 寛 | 鎧水 藤也 | 藤田 清 | 森 征逸 | 太田 正樹 | 上谷 一郎 | 高橋 直義 | 鈴木 敏世 | 細谷 孝司 | 村上 清志 | 廣井 豊雄 | 長谷川徳治 | 武田 弘 | 東海林正良 | 大和 壽一 | 副班長 | | | | | | |
| 長南 幸二 | 杉澤 輝男 後藤 静夫 稲村 秀韶 佐藤美枝子 | 庄司 豊 | 小笠原重義 | 吉田 凌逸 | 鈴木 莊一 | 阿部 丞 | 緒形 三郎 | 狩野 敏男 | 吉永 二郎 | 武田 教祐 | 吉永 二郎 | 會田 史郎 | 新野紀美雄 | 村上 宏治 | 丸山 正弘 | 鈴木 曉 茅野 勲 | 志田 正 | 伊藤 忠 佐藤 輝夫 | 吉田 久雄 | 豊川 覚 | 組長 |

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------|---|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|----|
| 西 部 | 南 沼 原 | 本 沢 | 南山形・ | 蔵 王 | 楯 山 | 山寺・高瀬 | 大 郷 | 金 井 | 出羽・明治 | 滝 山 二 | 東 沢 | 地区名 | | | | | | | | | | | |
| 結城 義弘 | 船山 三男 | 塩野 邦雄 | 塩野 邦雄 | 今野 久子 | 工藤 俊二 | 大場 昭美 | 伊藤 卓二 | 今田 一夫 | 漆山 敏男 | 沼沢 久雄 | 矢代 鉄也 | 班長 | | | | | | | | | | | |
| 渡辺 和夫 | 佐々木 守 | 長澤 勝紘 | 長澤 勝紘 | 土屋 利光 | 高橋 孝信 | 安孫子眞一 | 渡邊 一男 | 會田 文雄 | 石原 一夫 | 宮崎 尚之 | 江口 矩雄 | 副班長 | | | | | | | | | | | |
| 向田 利男 | 須貝 國男 空戸 良一 岸 清司 渡辺 正明 吉田 正 | 芳賀 清 | 鈴木 正孝 | 渡辺 三吉 | 三部 巳郎 | 小川 孝 | 樋口 猛 | 横山 重 | 南 莊介 | 大宮 和彦 | 板垣協五郎 | 稲村 勝美 | 樋口 俊樹 | 結城 正弘 | 永沢 慶次 | 青木 成之 | 古林キヨ子 | 本木 康晴 | 岩城 博範 | 菊地 一郎 | 相澤 忠志 | 川島 富隆 | 組長 |

会員互助会幹事

- 会長 阿部 一雄 (鈴川三地区)
- 副会長 遠藤 良雄 (第五地区)
- 幹事長兼会計担当 會田 千嘉子 (鈴川三地区)
- 幹事 阿部 健次郎 (金井地区)
- 幹事 山川 良男 (第五地区)
- 幹事 伊東 義雄 (第六地区)
- 幹事 長澤 榮三郎 (南山形・本沢地区)
- 幹事 小林 桂子 (鈴川二地区)
- 幹事 塩野 邦雄 (南山形・本沢地区)
- 幹事 會田 敏男 (蔵王地区)
- 幹事 五十嵐 由子 (第六地区)
- 幹事 升谷 光悦 (南沼原地区)
- 顧問 長瀬 洋男 (理事長)
- 相談役 笹原 信之 (常務理事兼事務局長)

お疲れ様でした
退任役員紹介

- 理事 井上 幸弘
- 理事 矢代 鉄也
- 理事 上谷 一郎
- 理事 柿本 青史



安全・適正就業強化月間

安全就業推進委員会 委員長 樋口健一

二十七年スローガン

『見逃すな ヒヤリで済んだ あの経験』

前年度、目標「ゼロ」を目指し、事故防止に努めてまいりましたが、残念ながら三件発生いたしました。
二、事故ゼロを目指した活動の推進

（就業中の怪我二件・損害事故一件）何れも物を運搬する際に発生した事故でした。今後、事故が発生しないよう、各地区班及び職群班とも連携協力し事故防止活動に取り組んでまいりたいと思えます。
三、安全意識の高揚策の充実

全国シルバー人材センターで発生した事故の状況を見ますと、就業中及び通勤時の事故件数が相変わらず増加傾向にあり、中には重篤事故につながった事例も発生しております。
四、会員の健康管理意識高揚として

さて、七月は「全国安全・適正就業強化月間」として一日から三十一日までの間、全シ協・県連合会・各地区 S C がそれぞれ連携し強化月間中活動してまいります。
五、就業途上における交通事故防止

策の徹底
・交通安全講習会及び交通安全対策の徹底
・徒歩・自転車・バイクでの事故防止の徹底

【取り組み事項】

一、安全就業推進委員会の開催

会報「シルバーやまがた」

表紙用写真の

募集について



「シルバーやまがた」の表紙用写真を次のとおり募集します。是非ご応募ください。

■募集写真

年四回の発行時期にふさわしい季節をあらわす山形市内の風景・風物とします。例えば桜並木や紅葉、街並み、地域の祭礼や行事など。

会報の発行日は一月・四月・七月・十月の各月一日です。

■応募資格

山形市シルバー人材センター会員及び職員

■応募規定

① 山形市内の風景・風物に限定します。

② カラー写真とし、Lサイズから2Lサイズまでとします。

③ 画像データの場合は（jpg）の様式とします。

④ 被写体の人物が明らかに特定できるもの（家族や仲間の写真を含む）は応募できません。

⑤ 採否の審査、決定は山形市シルバー人材センター広報部会で行います。

⑥ 採用作品の著作権は山形市シルバー人材センターに帰属します。

⑦ 応募作品は返却いたしません。

■応募期間

随時応募を受け付けます。会報発行日の一カ月前まで応募ください。

■応募方法

任意の用紙に地区名、会員番号、氏名、住所、電話番号、撮影日、撮影場所、ひとことコメントを記入のうえ、作品と一緒に郵送または持参ください。

■応募先

〒九九〇―〇八二八
山形市双葉町一丁目二番三号

山形テルサ一階
山形市シルバー人材センター

事務局「会報表紙用写真募集係」

山形市シルバー人材センター

（担当…斎藤）

電話 ○二三―六四七―六六四七

健康が一番



大郷地区
伊藤 功

私が健康で働けるのは、シルバー人材センターのお陰だと思っ

私は、十三年前、六十一歳のとき急に全身の倦怠感に見舞われ、胸が締め付けられるような激痛が走り、狭心症の手術を二回しました。一回目は血管にステントを挿入する手術です。半年後の再検査で、別のところに所見があり、次は冠動脈のバイパス手術で、八時間も要した大手術でした。手術が終わって目が覚め、

家族や親戚の顔が見えた時は、涙が出るほど嬉しかったです。その後、通院はしていますが、特に異常は見られず、健康で元気に生活しています。今はセンターからの紹介で、大型店のカーットの整理をしています。

健康で働けることは、気持ちにも余裕ができ、息子や娘、孫が遠くから遊びに来たときは、元気に迎えることができます。また動くことで体力や筋力がつき、毎日若々しくいられます。そして、一緒に働く仲間がいてくれるので、毎日楽しく過ごすことに感謝です。

ただいま勉強中



蔵王地区
栗田 久夫

私は昨年の十月に剪定・雪囲い作業を紹介され、晩秋の雪囲いから作業に従事しました。

最初の業務打ち合わせで先輩方から雪吊り作業を教えてもらいましたが、自宅の庭では吊ったことがありませんでした。しかし、低木類を荒縄で縛ったり、細い竹で囲うことは慣れていました。作業の段取りはベ

テランの班長さんの指示によります。私は主に低木の囲い作業を任され、雪の降る前日までに予定された業務は終了しました。作業の依頼者は高齢の方が多く、また来年もお願いしたいという話が多くありました。

夏場の剪定作業は、自宅以外の剪定は行ったことが無いので少々心配です。庭木は種類が多く、知識不足は参考書やネットで調べたりしていましたが、五月中旬から作業が始まりました。新緑の中の作業は気分爽快ですが、夏の暑さが心配です。ただいまは、先輩の指導を受けたり、毛虫にやられたりしながら勉強中です。

パソコンとの出会い



滝山二地区
宇井 昌弘

私のパソコンとの出会いは、それは人との出会いでも有りました。

現役当時、社内の文書はすべて手書き見積書、対外文書は主にワープロを使っていました。そんな折、パソコン好きな友人がそばについて後押しをしてもらい、仕事が終

わってから毎日のように友人宅に通い、ある時は自宅に来てもらって勉強しました。

あの時友人が、「根気よく教えてくれたなあ」と思っ感謝しております。その甲斐あって、仕事では、会議資料作成、データ管理など、パソコンの活用で効率がアップし、家庭ではインターネットで旅の情報など見ながら宿の手配と、自己管理として毎日の血圧・歩数活動量チェックとデータ入力し、体調管理にも役立つところとです。

私にとって便利な道具パソコンは、生涯の友です。

生まれ育った故郷に行ってみて



出羽・明治地区
庄司栄三郎

後期高齢者になったとたん、自分とはあと何年くらいの余命があるのかなアなどと、この頃つくづく思うようになってきました。

昨年秋のこと、ふと自分の生まれた田舎のことがときどき想い出され、約六十五、六年くらい前の小中学生のころの田畑や川原での水遊びや、

ひろば

つながり



多員の

健康・趣味

魚釣りなどをしたことがなつかしくなり、健康なうちに一度その場所に行ってみたくなくなり行くことにしました。

その場所は普通の人が見れば何の変哲もないただの平坦な土地で、田と畑と川原があるだけの所じゃないかと思われちゃうけれども、私にとっては、思い出が山ほど、沢山沢山詰まっている本当に価値ある所なのです。

行った日は天気にも恵まれ、本当に気分がよい日でした。自宅からは五、六キロぐらい離れたところですが、車ではなく自転車でカメラを持って行ってきました。まず私の実家に行き家の人に私の気持ちを話し、仏壇にも手を合わせ、帰りには村はずれにある墓地へ行き、両親の眠っているお墓にお参りしてきました。

昔は、どの家もほとんどが茅ぶき土壁と木枠の窓だったのが、今はトタンぶき、モルタルの外壁とアルミサッシに建て替えられ、道も砂利道だったのが舗装され両側はU字溝が入り、農道も舗装されておったが自然と「故郷の廃家」の歌が思い出されました。

一日中くまなく、ゆっくりと回り、昔遊んだりかけずりまわったりしたいろいろな人々との行動が本当に具体的に、きのうのこのように思い出されました。その方々も関東方面や県外に就職されたり、また他界された方もおられると聞いております。昼頃、川原の草むらで握り飯をほおばりながら次のような詩を作りしました。

・なつかしく 故郷の村を 歩きつつ
 ・思わずうたう「ふるさと」の歌を
 ・ふるさとの 川原で遊んだ子供の頃の

竹馬の友よ いまどこに 帰りに「これからは、あまり長くはない人生だから、精一杯長く、精一杯エネルギーに生きたいものだ」と、そして「常に若くしよう・健康でいよう・勉強しよう・もついろいろなものに興味を持とう」と思いながら、力強くペダルを踏み無事帰宅しました。

感謝状を受賞しました

当センターでは、設立当初より北山形駅の駐輪場整備の業務を委託し、現在は四名の会員が就業しています。今回、長年にわたり、北山形駅の駐輪場の整理と駅舎前の環境美化活動や挨拶と声掛けによる乗車マナー向上活動に積極的に取り組み、

「明るい鉄道環境づくり」に大きく貢献したとして、山形県鉄道防犯連絡協議会連合会より感謝状を受賞しました。授賞式当日は長瀬理事長が出席し、山形県鉄道防犯連絡協議会連合会の秋元会長より感謝状を受け取りました。



第八地区

佐藤 敏弘

私たちの生活に欠かすことのできない水道水についてふれてみたいと思います。

山形自動車道蔵王IC近く馬見ヶ崎川の辺り、松林に囲まれて「山形市松原浄水場」があります。大正五年に給水が開始され、平成十八年に全面改築されて耐震性に優れた浄水場に生まれ変わりました。

蔵王ダムとの高低差と導水管を流れる水を利用して、小水力発電を行っており、場内使用電力の七十パーセントをまかなっているそうです。

あらためて清流馬見ヶ崎川の恵みに感謝したいと思います。

馬見ヶ崎川上流の蔵王ダム、不動沢ダムの二ヶ所と場内の地下水から取水し、浄水処理後松原、熊の前および鈴川の各配水場から自然流下方式で各家庭へ給水しています。市内の東部、南部の四十パーセントをカバーしています。市内に八ヶ所の浄水場があります。見崎浄水場について二番目の大きさです。また昨年十月からは、



山形市松原浄水場

地域紹介

わが街自慢

パートII



南沼原地区

船山 三男

南沼原地区は、古くは条里制の遺構があったところから人が住んでいた地域であり、明治二十二年、南館、沼木、吉原の三村が合併して南沼原となった。田園に囲まれた豊かな自然に恵まれた純農村地帯であった。昭和三十六年、土地区画整理が始まり、宅地化が進み、現在では、南イオンショッピングセンター

の鎮守様であり、地区民の信仰はもとより、心のよりどころとして親しまれている。また、富の中地内にある「大日堂」は、地区民より「お大日様」と呼ばれ千年以上の歴史を経ている。このように古く、新しい街は、まさに「温故知新」ともいえる街である。

が出店するなど、急速に都市化が進んだ街で、共に人口増加が進み、南沼原小学校は県内屈指の児童数となった。

南沼原地区には、日本人の原始信仰である、山の神（蔵王、湯殿）、水の神、木の神、田の神（稲荷さま）など、神様を象徴する神社、石仏、石碑、地藏さまなどが多く散在している。その中の神明神社は南館にあり、「お神明様」として、富の中、高堂、南館地区



南館の「神明神社」

就業会員を訪ねて

白井 勲・山田正男(山形大学付属農場)

五月の日差しが眩しく、さわやかな風が吹くこの日、昨年から二人の会員が就業させて頂いている山形大学地域教育文化学部付属農場(平清水)を訪ねました。

そこは教育農場というところで、少量多品種栽培を目的とし、栽培と管理、作業体験等を

受講生七名が非常勤講師(齋藤博行氏)の指導の元で学んでいる。白井勲・山田正男会員は四月から十一月末までの間、通常週五日を毎日交代で午前九時から午後四時まで、七月までは毎週水曜日は一緒に就業し農場実習の補助、管理業務を担っている。

この日の作業はトウモロコシの種まき。二人はこの授業に備え、耕耘機で畑を耕し施肥を行った。種を手にした学生に交じって作業する二人の足取りが実に軽い。

『若い学生さんと一緒だから楽しいよ。元気パワーを貰っている』と笑う顔は汗がびっしょり。楽しい会話も弾む中、種まきの指導の後は水やり、鳥よけ

の寒冷紗の設置の指導。次の作業はトマトの支柱を立て『誘因は8の字に』と専門用語がとぶ。

就業して二年目。家庭菜園の経験だけではやりこなせない業務。昨年度は初めての仕事とあって大変だったが、齋藤講師の指導の元で今年の作業は大変スムーズだったという。講師からも『二人の協力で大変助かっています。なくてはならない方たちです。』と絶賛の言葉を頂き私達の顔もほころぶ。

収穫を迎えた時は、午前中に収穫と梱包、数量を小白川キャンパスの検収センターに報告、午後に納品後販売された代金は農場運営の予算になる。

学長、学部長を招いての十一月の収穫際には、学生と一緒に二人も参加し楽しいひと時を過ごすとのこと。

ここは、『畑仕事が好きな事と同時に元気であることが大事だよ』と二人。日焼けした手とすがすがしい顔が印象的でした。(取材：広報部)



新入会員紹介

(4月1日～6月30日まで)

| | | | | | | | | | | | | |
|---------|------|-------|-------|------|-------|------|----------|--------|---------|-------|---------|------|
| 飯塚・榎沢地区 | 千歳地区 | 鈴川三地区 | 鈴川一地区 | 第十地区 | 第九地区 | 第八地区 | 西地区 | 第六地区 | 第五地区 | 第四地区 | 第三地区 | 第一地区 |
| 高橋代 | 佐藤衣江 | 長谷川仁 | 渡辺重子 | 柳谷脩一 | 高橋千代江 | 武田満 | 齋藤康夫 | 佐藤明 | 工藤江里子 | 齋藤英夫 | 大泉宗男 | 高橋利晴 |
| | | | | | | | 平山和裕 | 鈴木源治郎 | 出羽・明治地区 | 滝山二地区 | 飯塚・榎沢地区 | |
| | | | | | | | 川合仁三郎 | 金井地区 | 柴田由紀子 | 志田 拡 | 金子 宜弘 | |
| | | | | | | | 鈴木 秀子 | 原田洋一郎 | 熊谷 有子 | | | |
| | | | | | | | 樋口 和美 | 門脇 孝一 | | | | |
| | | | | | | | 高橋 和子 | 高橋 信 | | | | |
| | | | | | | | 山寺・高瀬地区 | 高橋 慎一 | | | | |
| | | | | | | | 蔵王地区 | 伊藤 博利 | | | | |
| | | | | | | | 南山形・本沢地区 | 樋口 正昭 | | | | |
| | | | | | | | 南沼原地区 | 櫻井 慎一 | | | | |
| | | | | | | | 高橋 文一 | 高橋 和男 | | | | |
| | | | | | | | 後藤 周子 | 草苺 保紀 | | | | |
| | | | | | | | 佐藤 和秀 | 斎藤 照雄 | | | | |
| | | | | | | | 佐藤 文一 | 佐藤 美喜子 | | | | |
| | | | | | | | 高橋 周子 | 藤田 利直 | | | | |
| | | | | | | | 高橋 文一 | 高野 昭英 | | | | |
| | | | | | | | 高橋 文一 | 阿部 良一 | | | | |
| | | | | | | | 高橋 文一 | 山田三枝子 | | | | |
| | | | | | | | 高橋 文一 | 伍嶋 洪太 | | | | |
| | | | | | | | 高橋 文一 | 鈴木 定子 | | | | |
| | | | | | | | 高橋 文一 | 梅津すみ子 | | | | |

事務局だより

(株)山形市シルバー人材センター

山形市双葉町一丁目二番三号
電話(0)23(6)471647

新事務局職員紹介

どなたにもご活用願います。



子育て支援コーディネーター
垂澤ひとみ



子育て支援コーディネーター
渡邊 裕子

年度会費は 傷害保険料に充当

会員の皆さんからいただいている年度会費(会員互助会除く)の主な使用内容については左記のとおりです。

会員傷害保険料(一人あたり)

二千百九十円

総会議案書・会報印刷費等 九百円

(うち、三百十円を充当)



お知らせと お願い



配分金支払日

- 七月十七日(金)
- 八月二十日(木)
- 九月十八日(金)

システムの変更により、配分金明細書の発送が以前より遅れる場合があります。支払日前日までに確認いただけるよう発送しますが、何卒ご了承くださいますようお願い申し上げます。

入会説明会(午後一時三十分)

会員の皆さんからも入会の勧誘を願います。

- 七月九日(木) 十六日(木)
- 八月六日(木) 二十日(木)
- 九月十日(木) 十七日(木)

就業相談日(午後一時三十分)

(就業に関しての相談です)

- 七月九日(木)
- 八月六日(木)
- 九月十日(木)

事務局紹介

常務理事兼事務局長 笹原 信之

業務課長 平田 悦一

業務係

係長 武田 千春

主事 原田 弘之

嘱託職員 角田 幸恵

嘱託職員 吉田 和志

総務係

係長(兼務) 武田 千春

主事 斎藤 康子

嘱託職員 米山 知香

めんこいひろば

子育て支援コーディネーター

斎藤 弘子

小笠原詩織

垂澤ひとみ

渡邊 裕子

あしがき

本号は、六月十日に開催された定時総会に関する記事を中心に編集を行い、平成二十六年事業報告並びに収支決算、平成二十七年事業計画・収支予算等の概要を掲載しました。

また、役員の変更に伴い、紙面にて新役員の方々をご紹介しました。長瀬理事長はじめ、役員の皆様と会員とが一緒になって、当センターの益々の発展に取り組みたいと思います。

広報部会も新しいメンバーで活動を行うこととなりました。広報部会の大きな活動のひとつに「シルバーやまがた」の編集、発行があり、モットーは「会員による会員のための会報」です。広報部会として内容の一層の充実にも努めますが、会員の皆様からも参画をいただきたいと思います。そして趣味や生きがい、健康づくり、就業に関すること、地区活動に関する事など、いろんな場面、内容についての情報提供・原稿の提供をお願いいたします。

本号では、会報の表紙用写真の募集記事も載せました。是非ご応募ください。